

# 沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学・統計解析委員会

## 【現状】

### 新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（4月11日-17日）の新規陽性者数は9,432人（先々週8,546人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における先週の実効再生産数(R)<sup>\*1</sup>は1.07 [最小値0.47-最大値1.41]、このうち那覇市は1.04 [0.67-1.42]でした。また、宮古は1.11 [0.39-1.68]、八重山は1.10 [0.54-1.42]でした（図1）。全県的に緩徐に感染拡大が続いています。

\*1：最終日を除いた直近7日間における日別推定値（平均値）の平均値。[ ]内は、直近7日間における日別推定値（平均値）の範囲（最小値から最大値）を表す。

### 年齢階級別推移

年齢階級別では、10歳未満が1,685人（18%）と最多であり、10代1,658人（18%）、30代1,507人（16%）と続きます（図2）。推移をみると、10歳未満と10代は第6波を越えて過去最多となっています。また、急速に増加していた90代は減少に転じましたが、70代、80代の高齢者は増加が続いています（図3）。

### 幼年・若年層

学校別では、保育・幼稚園児169人（先々週280人）、小学生1,246人（先々週1,038人）、中学生550人（先々週489人）、高校生358人（先々週308人）でした。保育・幼稚園児以外では感染が拡大しています。

保健所による疫学調査によると、いずれの層も家庭内が最多ですが、保育・幼稚園児と高校生で

友人の占める割合が高いことが特徴です。また、高校生の部活における感染を多く認めています（図4）。

### 高齢層

高齢者の年代別では、70代247人（先々週220人）、80代154人（先々週1,038人）、90歳以上88人（先々週102人）でした。

保健所による疫学調査によると、70代では家庭内感染が最多ですが、80代と90歳以上のいずれも入所施設における感染が最多となっています。医療機関における院内感染も多く、医療介護関連感染を防止することが、高齢者における感染拡大を防ぐうえで重要です（図5）。

### 保健所管区別

保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部478人（先々週511人）、中部3,392人（先々週3,054人）、那覇市1,947人（先々週1,870人）、南部2,839人（先々週2,434人）、宮古351人（先々週287人）、八重山385人（先々週331人）でした（図6）。北部が約1ヵ月ぶりに減少に転じており、那覇市の増加も緩やかになっています。一方、八重山は第6波を越えて過去最多の流行になっています。

なお、県外からの渡航者は39人（先々週53人）でした。このうち福岡県9人と最多であり、東京都7人、神奈川県6人と続き、渡航元は13都道府県と散らばっています。

### ゲノム解析

3月27日から4月2日にかけて県内で採取さ

れた48検体について全ゲノム解析を実施したところ、うち25例(52.1%)が感染力の強いとされる「BA2」系統のウイルスでした。さらに、4月3日から10日にかけて採取された48検体では、36例(75.0%)が「BA2」系統のウイルスでした。沖縄県内では「BA2」への置き換わりが進んでいます。

### 入院患者数推移

先週の新規入院患者数は181人(先々週167人)でした。入院患者数は、先週末(4月17日時点)で350人(4月10日時点273人)と増加しており、このうち酸素投与など中等症患者は167人(4月10日時点134人)でした。また、気管挿管な

ど重症患者は2人(4月10日時点2人)と変わりません(図7)。

この他、社会福祉施設で療養されている陽性者が、先週末(4月3日時点)で37施設に279人おられ、1週間前より109人増加しています。

なお、先週末(4月17日時点)における確保病床の病床占有率は、沖縄本島57.6%(295/512)、宮古地区7.6%(5/66)、八重山地区29.5%(13/44)となっています。高齢者の新規陽性者の増加により、沖縄本島における病床占有率は増加が続いています。なお、重点医療機関の確保病床以外に入院されている49人については除いて計算しています。

## 【今後の見通しと対策】

沖縄県では、3月末より第7波と数えられる流行が拡大しています。その増加速度はやや減弱しているようにみえますが、来週末より大型連休に入ることから、5月上旬より再び増加速度が加速する可能性があります。

大型連休に沖縄県へと渡航される方は、できるだけ渡航前に検査を受けて陰性を確認するようにしてください。マスクを着用しないアクティビティ(ダイビングなど)の事業者は、予約客に検査陰性を確認してから来県するよう求めてください。親族の帰省を受け入れる世帯でも、渡航前に検査陰性を確認するよう伝えてください。

現在も高いレベルで流行していることから、引き続き、高齢者や基礎疾患を有する方、そして肥満のある方などに感染させないように注意しましょう。とくに、感染リスクのあるイベントに参加したあとは、1週間程度、重症化リスクの高い方の自宅を訪問したり、一緒に食事をしたりすることは避けてください。また、重症化リスクの高い方々およびケアに関わる方々は、できるだけ3回目のワクチン接種を終わらせるようにしてください。

高齢者施設における集団感染が続いています。

職員に発熱や咳などの症状があれば必ず休ませてください。そして、医療機関を受診させるか、県が配布している抗原検査キットで確認してください。また、沖縄県では、社会福祉施設の職員に対する2週間に1回の無料PCR検査を実施しています。施設内感染の早期発見のためにも、参加されることをお勧めします。

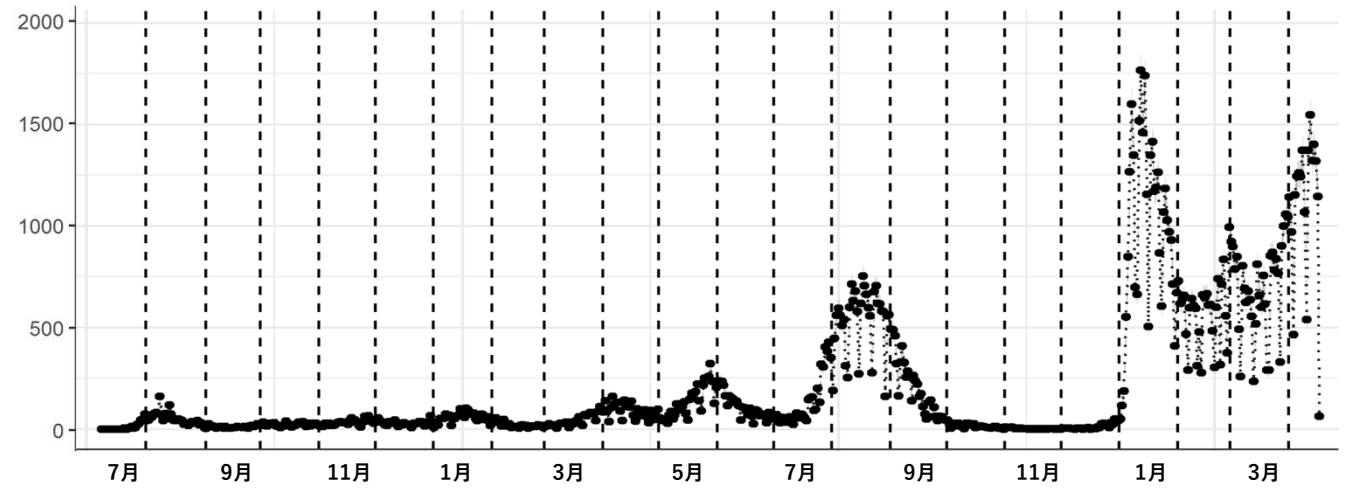
高齢者が利用するデイサービスでの感染も続いています。サービス利用者に陽性者を認めたときは、濃厚接触者に限ることなく、同じ空間にいた利用者全体に検査を実施することをお勧めします。利用前の症状確認を確実に実施し、症状を認めるときには検査を行ってください。なお、配布している医療用抗原検査キットを使用して陽性が判明したときは、かかりつけ医に相談するか、県コロナ本部の「病院・施設支援グループ098-894-5122」に連絡してください。

今週の新規陽性者数は8,500-11,500人となり、今週末までに入院患者数は340-380人に至り、うち重症患者数は4人前後と見込まれます(図8)。

# 図1 陽性者数の推移と実効再生産数 (北部、中部、南部)

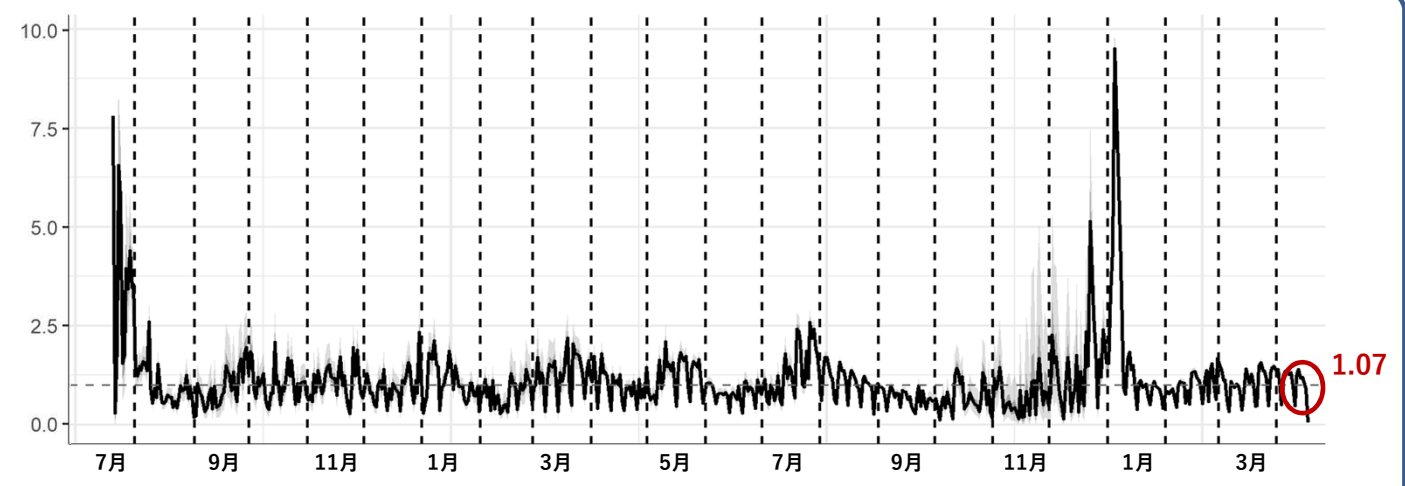
陽性者数 (確定日)  
日あたり観察値

北部、中部、南部医療圏  
(宮古・八重山を除く)

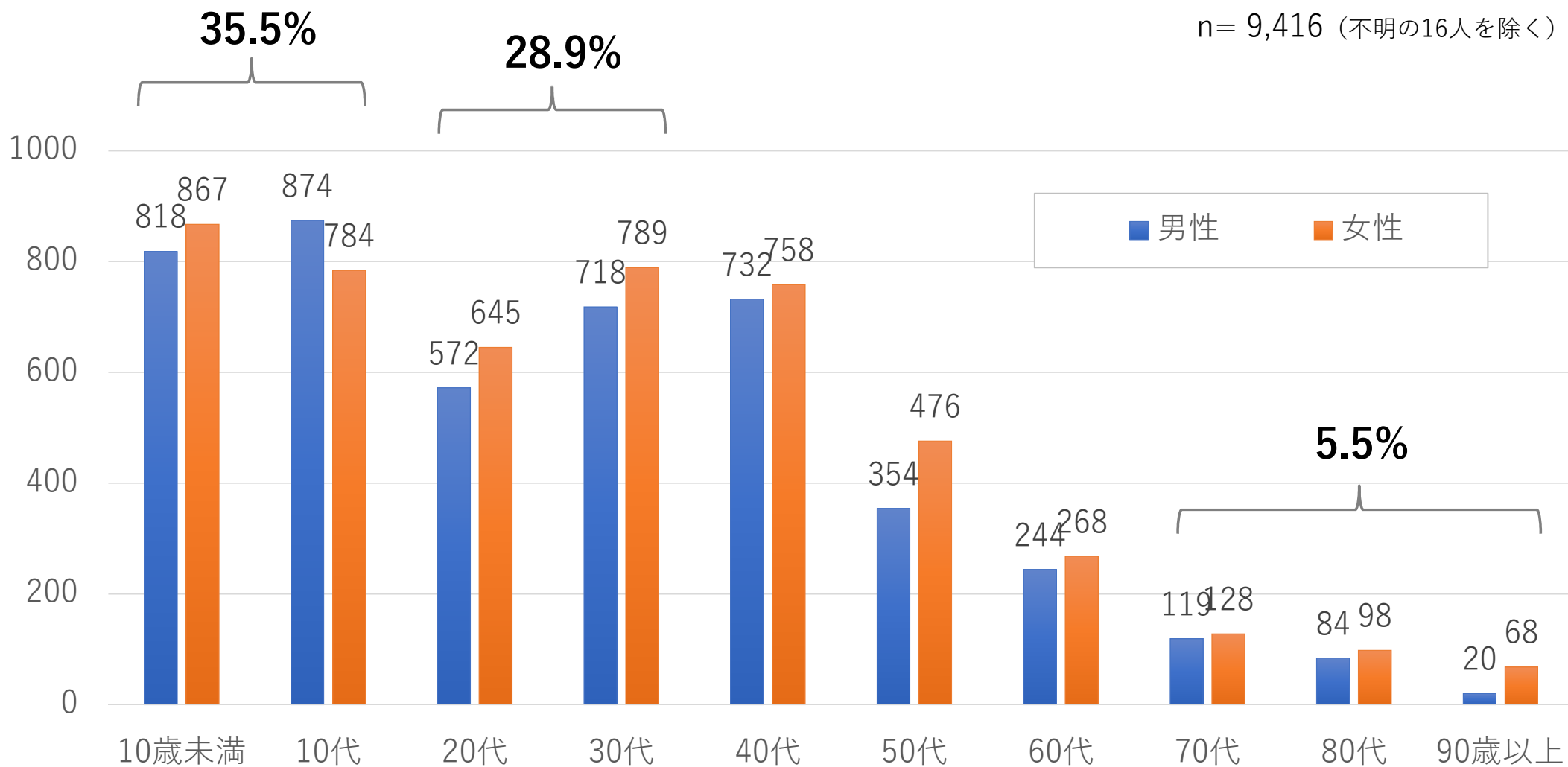


実効再生産数  
直近7日間平均値

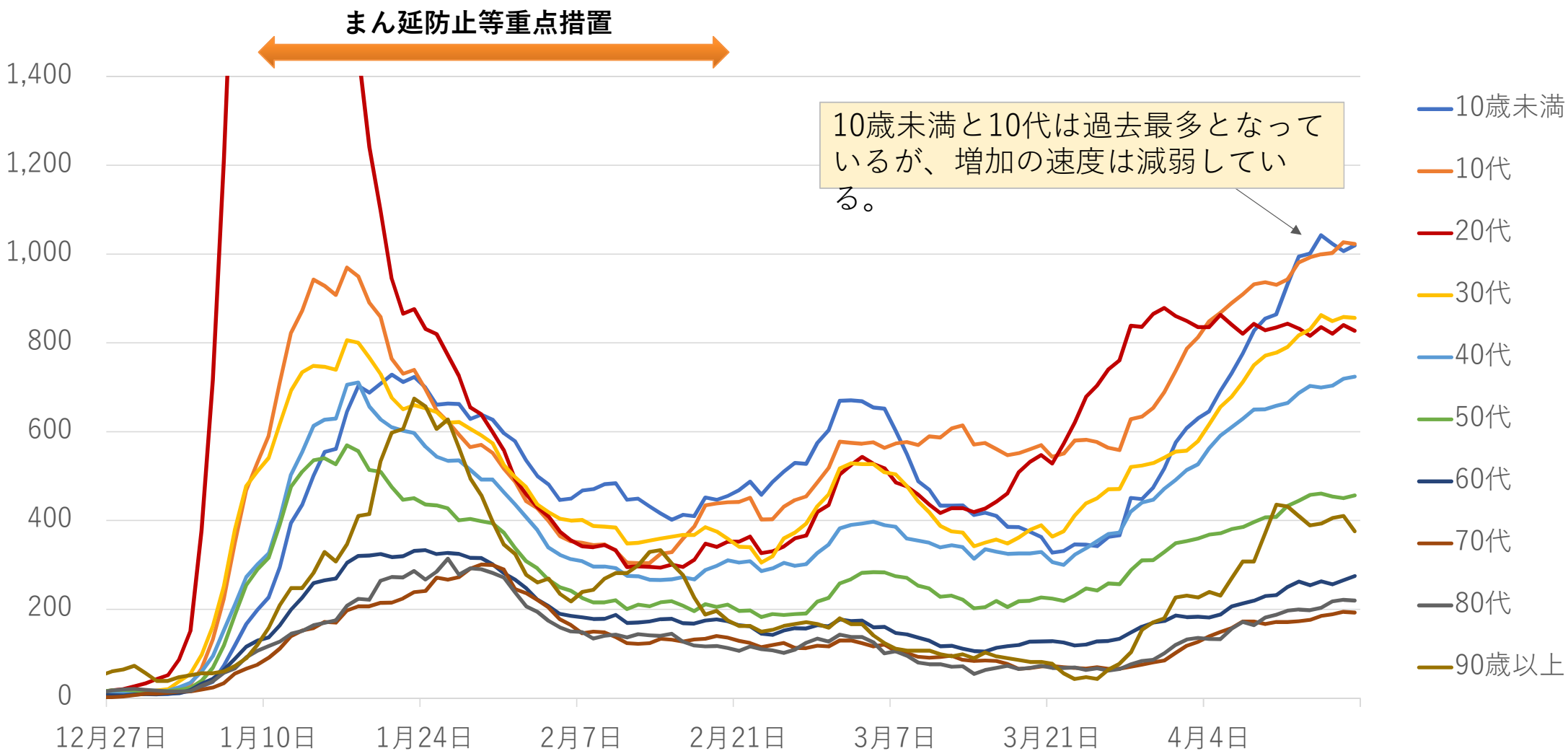
北部、中部、南部医療圏  
(宮古・八重山を除く)



# 図2 性年齢階級別に見る陽性者数 (4月11日~17日)

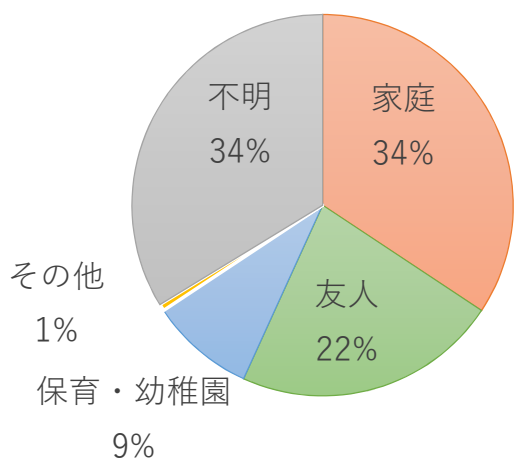


# 図3 年齢階級別に見る新規陽性者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)



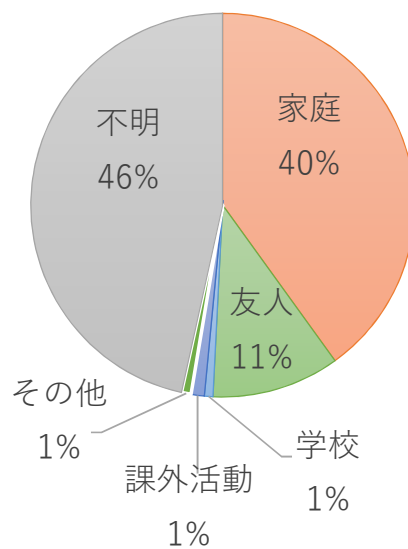
# 図4 幼年・若年層における推定感染経路（沖縄県）

## 保育・幼稚園児



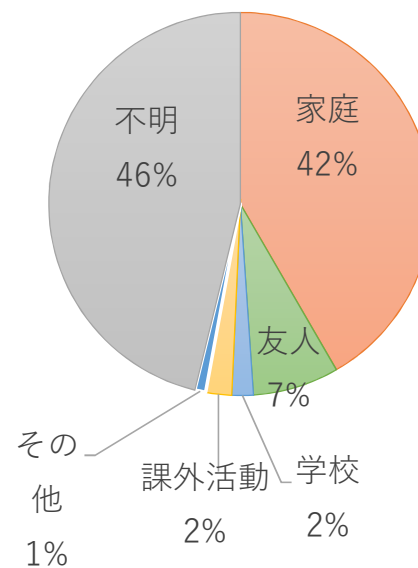
n=169

## 小学生



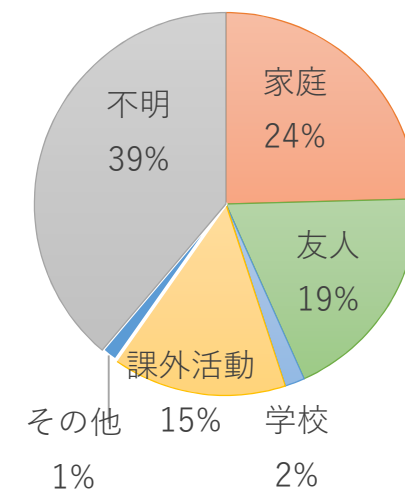
n=1,246

## 中学生



n=550

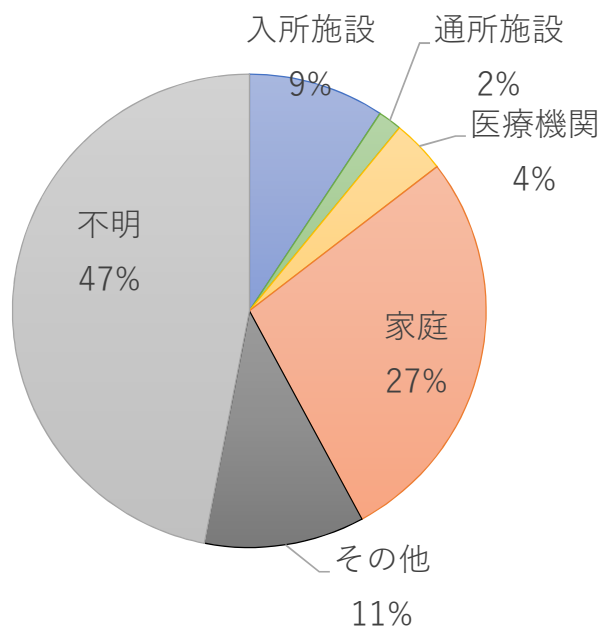
## 高校生



n=354

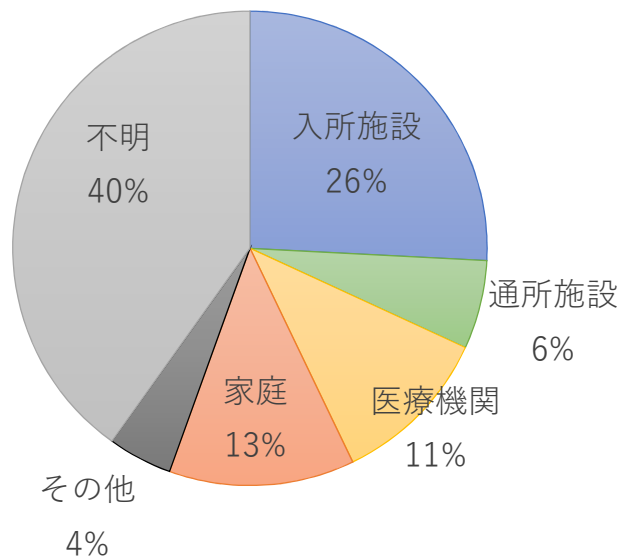
# 図5 高齢層における推定感染経路（沖縄県）

## 70代



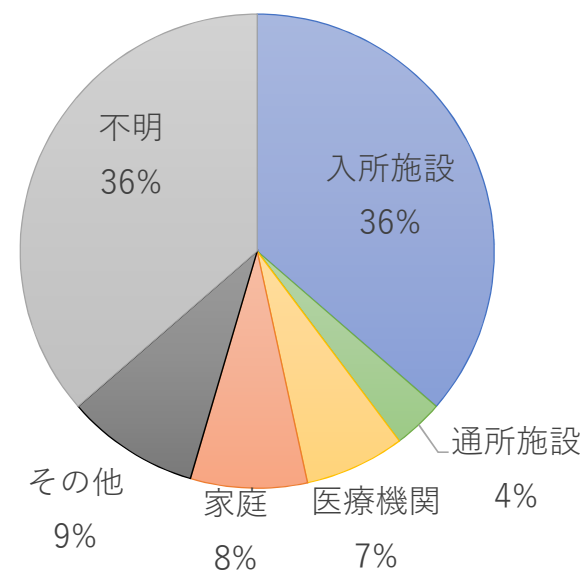
n=247

## 80代



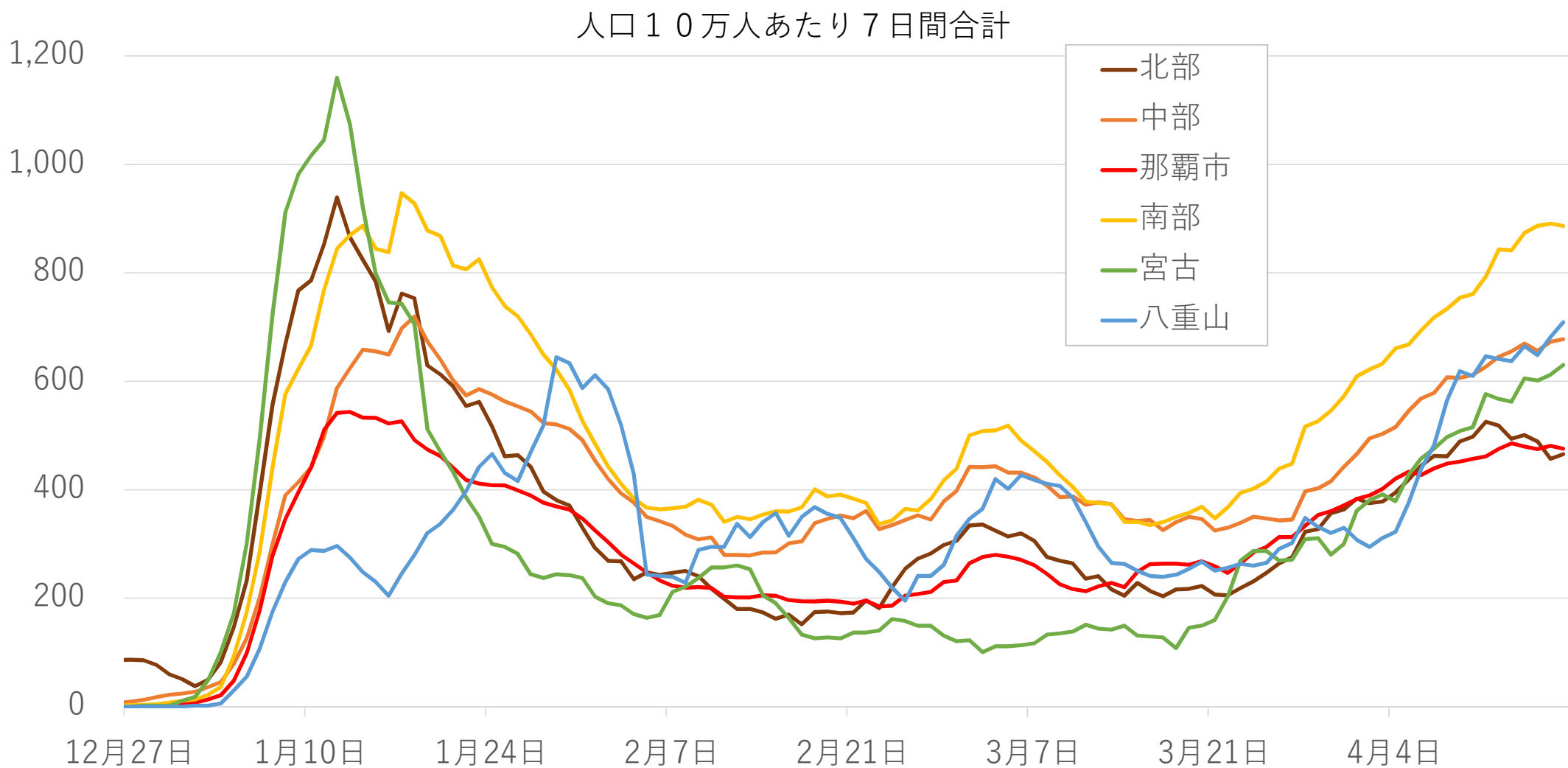
n=182

## 90歳以上



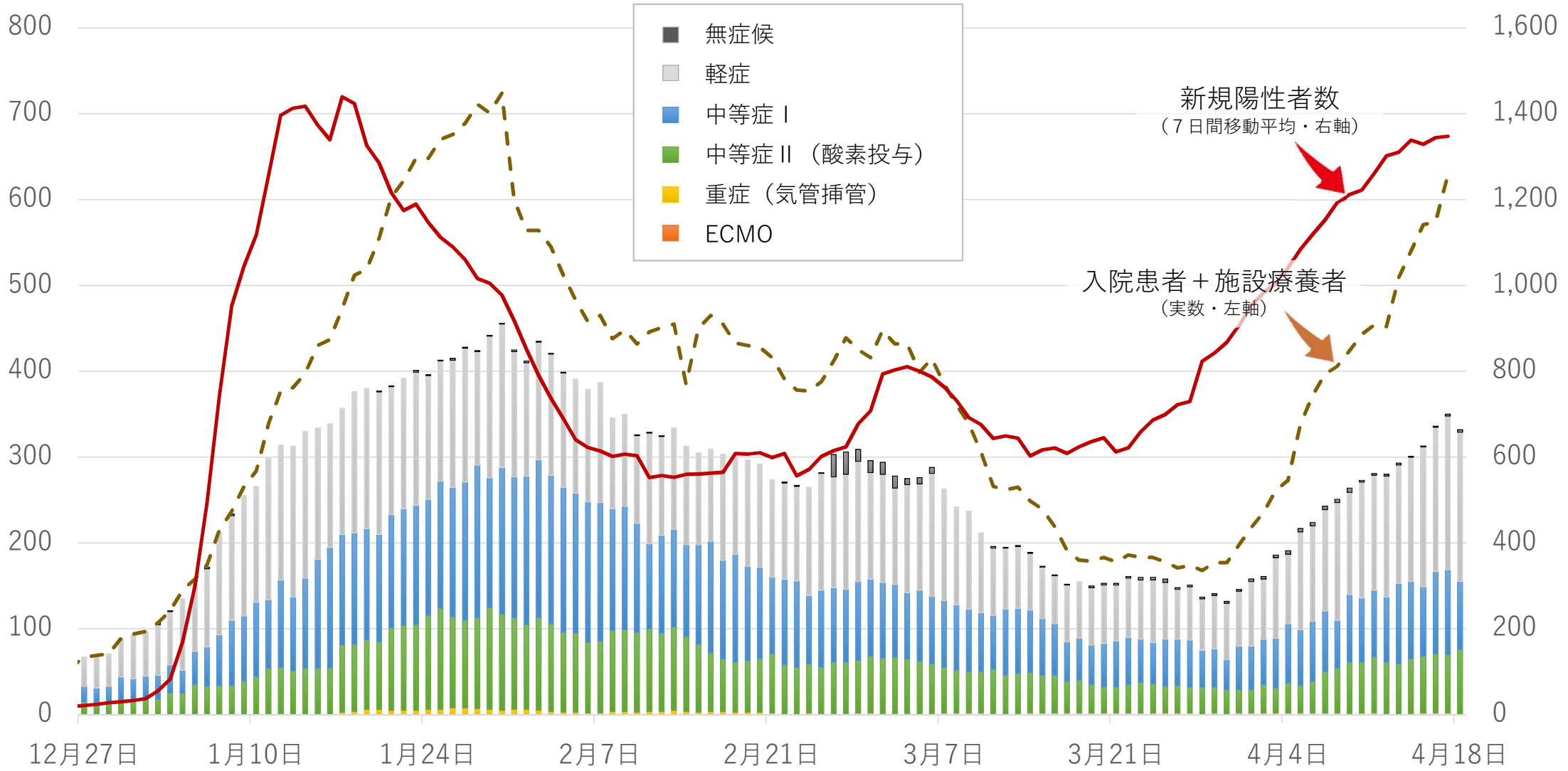
n=88

# 図6 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移（沖縄県）





# 図7 重症度別入院患者数と施設療養者数の推移



## 図8 今後1週間（4月18日-24日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県  
 年齢群別重症化率； 厚生労働省  
 平均期間（入院・重症）； HER-SYS

実効再生産数	新規陽性者数（確定日）			入院患者数※			重症患者数※		
	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5
<b>北部</b>	232	468	942	26	29	35	0.1	0.2	0.2
<b>中部</b>	1,666	3,355	6,756	77	98	133	0.6	0.9	1.3
<b>那覇市</b>	975	1,964	3,955	86	105	135	1.8	2.0	2.4
<b>南部</b>	1,415	2,849	5,737	73	94	130	0.7	0.9	1.4
<b>宮古</b>	169	341	687	7	9	12	0.1	0.1	0.1
<b>八重山</b>	183	369	743	12	14	19	0.1	0.1	0.2
<b>合計</b>	<b>4,641</b>	<b>9,346</b>	<b>18,821</b>	<b>280</b>	<b>350</b>	<b>465</b>	<b>3.3</b>	<b>4.2</b>	<b>5.7</b>

※ 4月24日時点の見込み数

沖縄県疫学・統計解析委員会